夕刊 磐城新聞
十一月十四日發行
（日曜祭日翌日休刊）東京振替一〇五六五八番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 北の風晴
明日 北から南西の風晴一時曇

シナリオ 或る風景

森たかみち

〔下〕

裏の方からタイチの母親が入つて來て上へ上り、イチベエの前を通つて子供らの傍へ行く。

『おや／＼此の子はこんなに潜り込んで、暑からうに』と布團に手を掛けやうとするのをイチベエが手を振つて制するので、それと氣付き當惑した顏をイチベエの方へ向ける。

ハナキは突然立ち上がり

『姐さん、歸つて貰ふ』と言つて出掛ける。

イチベエ、膝を叩いて

『おッ、それがいゝ、旨く口說き落として來なよ』と勵ます。

ハナキの出て行つた跡を見送り、タイチの母親はイチベエの前に坐つて『本當にミチちやんのおつ母さんが戻つて來たらいゝねえ』と言ふ。

星空の下をハナキは足早に歩いてゐる。踏切を越ゆる。向ふに街の灯が見える。

〔蝶々〕

ミチヲの母親、日向で洗濯してゐる。飾り氣のない束髮にしてゐるが髮はしつとりと油を含んでゐる。

ミチヲはその周圍をぐる／＼廻り、嬉しさうに惡戯らしく話しかける。

『お母さあん』

『はあい』

『お母さん』

『はい』

『お母さん、お母さん、お母さん』

ミチヲ、側へ寄つて行く母親、微笑んだ儘、盥の中を見て洗濯の手を休めない

ミチヲ、眞顏になつて『お母さん、洗濯物、澤山あるだらう』

母親、笑つてミチヲの顏を見る。

『お母さん。ハナキさんて好い人だね』

『そりや好い人だよ』

『だけどハナキさんは自分で惡い子だつて言つて居たよ。……ハナキさんはね、お母さんが居なくなつてから惡い子になつちまつたんだつて。ハナキさんはね、お父さんが大嫌ひだから惡い子になつてやつたんだつて』

母親、ふと洗濯の手を止める。

『お母さん、ハナキさん可哀さうだね』

『さうだね』母親、分らない程に涙ぐむ。

『ミチ坊はお父さんが好きだし、お母さんはきつと戻つて來るから、惡い子にならんぢやないぞつてハナキさん言つてた。……そしたら本當にお母さん戻つて來た』

ミチヲ跳ね上つて、また母親の周圍を廻る。急に立ち止まつて『お父さんは、ぢつき癒るかしら……』と考へ込む。

母親、少し何かに拘はり作ら『今日、見に行かうか』と言ふ。

『行こ行こ。ね、お母さん、お父さん喜ぶよきつと』

『喜ぶか知ら』

『喜ぶさ、怒つたら髭引つぱつて虐めてやればいゝ。お父さんはね、お母さん。繃帶中顏……あれ?。ははは』

ミチヲ、止め途なく笑ひ出して駈け廻る。

白い小さい蝶々が飛んで來る。ミチヲそれを追つて何處かへ行つてしまふ。

ありしままを

赤井嶽男

○湯豆腐も冷めぬ酒をし切り上げん制服の子らは本を讀み居り

○ほろ苦き茹でたる菊の冷たきが今宵の酒のよき下物なりし

○小歇みなくしはぶく吾娘に肺炎の不吉をおもひ夜もすがらなる

○とく癒ゑて風邪の氣配の失せし娘に父はたぬしも今朝の秋そら

○妻も子も皆健くして憂ひなし酒を喰らべてわれをさきはふ

聞大森醫學士歸還

珠雲 小野務平

蹈破縱橫萬纍天
醫無國境歷游全
蠻煙瘴雨身逾健
今日平安萬里旋

その日／＼

○初冬の村に出來する火の見かな　古峰

11月15日
△坂本龍馬京都に於て刺さる（慶應三）△佛國廣州灣を租借す（明治三二）△金貨、金塊の保有調査（昭和一三）

講談 振袖横町 (78)

須藤鐘一　狄原萬象畫

同志（三）

『ふゝん、俺が咬み付きもしない犬を蹴飛ばしたと言ふのかい?俺だつて、何もすき好んでおとなしく／＼してゐる犬を蹴飛ばしやしねらんだよ、咬みつくと思つたからなんだ』

『咬みつくと思つたからだつて?と云つても、咬みつく犬か、さうでない犬かは一目でわかりさうなものぢやないか。』

『ところが、あの犬は、どうしたといふんだい?』

性急に、猪口の中の酒を飲み續けて、

『あのぶちは、お前さんが怒鳴つたから、側を通つて逃げて行かうとしたところを、お前さんが蹴飛ばしたんぢやないかつ』

『そうぢやない！蹴飛ばしたから逃げて行つたんだ。』

『然うぢやな、！その前に牙を剝いて側に近寄つて來たから俺は、畜生奴！しつ！しつ！といつて追つたんだ。』

『だから逃げたんだらう。逃げるものを、蹴らなければ、よいぢやないか……』

『だけど、蹴らなければ、また向つて來るかもわからないんだからな。』

『さうばかりでもない。――』

『ちえい、面白くもない、自分の言ふことだけを主張して！さうつべこべ云ふな――。たいてい咬みつく犬と、咬みつかない犬とは誰にだつてわかるんだから、咬みつかない犬を、無暗矢鱈に蹴つ飛ばすないと云ふんだ。』

『然し、俺は犬に親類はないんだ！かみ付く犬と、かみ付かない犬とは、區別が出來ないんだよ……。』

『誰が犬に親類があると云つたんだ、もう勝手にしやあがれ、俺や、もう、お前みたいなわからずやとは一緒に飲まないよ、それからお前みたいな者は使はないんだ！さあ、今日の日當を拂ふぞ、後は一人で勝手に飲むがいゝさ、――おい、姐さん、勘定はおいくら……。』

『ふうん、使つて貰はなくたつていゝや、お天陽さまと、米の飯は付きもんなんだ、糞面白くもねえ……。』

商人は、勘定を支拂つて店を出て行つた。

今までは、一の印絆纏の男が引いてゐたのであらうその箱車を自分で引いて行く

後に殘つた絆纏着、自分で別に好きな酒を取つて、ちびり／＼と飲つてゐた。

けれど、その姿に、その顏に、今の町人に『使つてやらない』と言はれたのでがつかりとしてゐるやうな樣子が見えた。

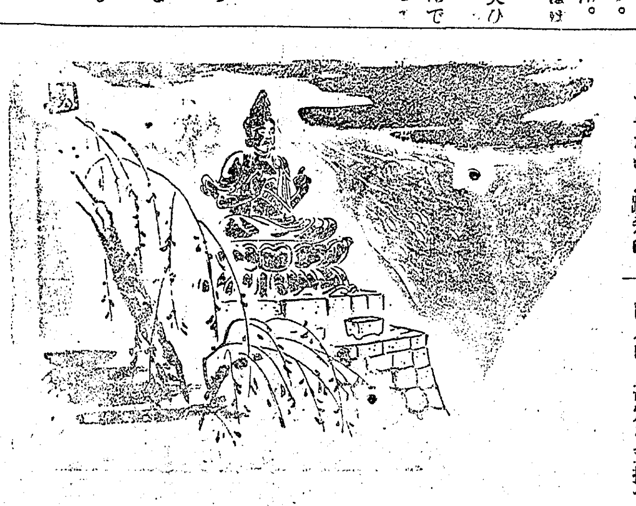
織衞は、この絆纏着がつまらないこと意地を張つて職を失つた淋し氣な樣子をぢつと見送つてゐたが、

『これ人足！』

と、聲を掛けた。

『これはこれは、お武家さま、何か御用でございますか?』

『置き去りにされて淋しさうぢやのう……。まあ、此方へ來て、わしの酒でも受けて呉れ。あの町人は、かみつく犬と、かみ付かぬ犬とは一目で見分けられるやうでなければで不可ぬと言つたが、そんな男が、ゐて、かみつかれるものぢや、かみつく犬が、わかるものなら誰もかまれる者はない！』



白梅便箋 忠孝便箋 文鳥便箋 菊日本便箋
香取封筒 住吉封筒 東亞封筒 松竹梅封筒
特約店 (文) 魁文堂 電話313番

展覽會並に即賣會
毛皮界の王座銀狐
期日 來る十一月十五日ヨリ四日間 毎日午前八時煙火合圖
場所 平市驛前劇場あさこ
出品頭數 ピカ一揃 六十頭 外參考品 多數出品
入場料 無料
展覽會開催記念のため先着順をもつて多産血統優秀經産狐四十頭有利條件附にて貸付御相談に應じます。お早く御申込を
樺太廳中央試驗場血統種狐分讓
北日本養狐場
平市出張即賣會事務所 平市驛前こうや旅館內〔電話六四八番〕

中等學校制服……大特賣
高嶋屋の洋服
男女學生服 新入荷
並ニ注文既製品
高島屋 平市二丁目 電話三八六番

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキキメの早い
靈効散 胃腸藥 を御試し下さい
胃腸病。心臓病。腦。痔。適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい
平市古鍛冶町縣社ノ下
調劑所 阿康藥局 電話四四番 振替口座東京三〇〇六五番
定價 五十錢 八日分 壹圓 廿日分
御子様方には飲み易い小兒靈効散があります。

產婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九
見習看護婦入用

室內用竹レール 創始
高尚優美 無音低廉 防中防腐製品
國華竹レール
實用新案 第二一四二八八號 一九三六四七號
一番美レイ一番打付ケヨイ音セヌ
京都府園部町 國華竹レール 第一工場
仝綾部 仝第二工場
仝宮津町 仝第三工場
東北六縣一手特約店
(KS) 合資會社 平銅鐵機械商會 代表者 井尻七三郎
國華竹レール部
一縣一市御特約店ヲ契約
一縣一町一村ニ小賣店特約店ヲ望ム
詳細ハ弊社御照會ニヨリ社員見本持參御相談ニ可應候

重田眼科
眼科一般 眼鏡檢定
平驛前通り 元貯蓄銀行跡
醫師 重田景治
平市田町一番地

鑑定項目
名前のみで一代の運命 何んでもわかる……
体力 肉体（健康、不健康、相貌） 疾病（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業（適業、不適業） 天運（天運、成功、不成功、炎厄）に關する一切
血緣 家族運（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無 男女緣（氣質、相性、相尅、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長 鵜沼孝昌 平市紺屋町三六

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月 隨時
卒業期間 四ケ月（高女卒程度） 十ケ月（小高卒程度）
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月 隨時
卒業期間 本科 一ケ年 速成科 六ケ月
文部大臣認可 平陽女學校（平市 電話四四五番）

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
(美) マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一一

神經痛・ロイマチス
塗布藥 漢方 百草根
藥價 五〇錢 一五〇錢 五〇〇錢
陸海軍病院御用藥
平代理店 丸亀商店 平市大町 電話一三三番

串おでん 芋鱈 お多幸
大阪名物
暫らく休ませて戴きましたが季節になりましたので、又た始めましたから御贔屓を御願いたします。
田町末廣となり お多幸

白の魂
淋病、婦人病 根治療法
（平市研町公園下） 白の魂理代店
高周波HS線 樂生堂電療院
從來の療法で根治せぬ方は、先ずHS線の責任管治療には如何なるものか御相談下さい

積年の熱願空しく 小名濱修港終に削除

望みは復活要求の結果

矢吹ヶ原開墾國營本極りに力を得た本縣では更に片唾を呑んで小名濱商港修築及び六號國道改良に關する大藏省の査定結果如何を刮目中の處、縣當局及び地元民が殆ど全心血を傾到して只管その實現を祈念してゐた該豫算は從來曾てその前例を見ぬ迄に慘憺たる土木の全滅的削減により終に其の選に入ることが出來なかつた。內務省では十三日夜直に關係局課長會議を開き今十四日中に省議を開いて土木の全面的復活要求をなす手筈であるが、この結果どうなるか、全く心もとない狀況に置かれて在る

着發 殆ど變り無し

列車時間改正と平驛

明十五日からの列車時間改正も方面によつては急行の增發其他相當の變りがあるが平驛中心のダイヤは
(上り)上野行午後五時五分が十分に　湯本行最終(氣)午後十時三十分が三十五分に
(下り)仙台行午後一時五十八分が五十七分に　泉町行七時三十七分着四十三分發が三十九分着四十五分發に
(磐越線下り)郡山行午後七時四十一分發が五十分に
僅か一、二分の異動がある丈けで殆ど從來通りである

羊毛講演會

十六日市公會堂で

愛國婦人會平分會では羊毛の智識普及と反毛報國實踐運動のため十六日午後二時から市公會堂に『羊毛資源確保、反毛報國運動協議並に講演會』を開く、講師は日本羊毛普及會理事長高橋六郎氏、その講演要旨左の如し
羊毛智識の普及、反毛國策の重要性、緬羊飼育の指導奬勵、毛織物の手入り法

東部聯合 教育總會

小名濱校で

一市三郡東部聯合教育總會は十八、九兩日小名濱小學校に開き郡內二十五年教育界勤續者三十年同上更に敎育功勞者を表彰、各種研究案を討議する、尚ほ當日は横鎭人事部第三課長宮田海軍大佐の講演がある筈

木炭組合 理事着任

濱三郡木炭同業組合理事は江尻榮次郎氏の退職により佐藤寛氏が十四日着任、從來通り平市團体事務所で事務をとる

自治革新會

あす玉川で發會式

玉川村自治革新會發會式は明十五日午後一時から同村小學校に開くと

全校生にトウマン注射

磐中で結核豫防强調

磐城中學校では今十四日より五日間に亘つて行はれる國民精神總動員中央聯盟及び財團法人結核豫防會主催令旨奉體結核豫防國民運動に際し、昨十三日全校千餘名の生徒に對して淸水校醫により該病に對する各自の健康狀態を檢出する『マントウ注射』を行ひ明十五日其の結果を調査の上將來に於ける生徒体位の向上と學校衞生の完璧に資すると

無料診斷＝健康相談

石城醫師會も協力

石城醫師會では令旨奉体結核豫防國民運動に關し北島日本醫師會長の申出でにより
一、郡市區醫師會員にして診療所を開設し居るものは十一月十四日より五日間隨時無料にて健康診斷及健康相談に應ずること
二、銀行、會社、工場等團体に於て地元醫師會長迄健康診斷の求めありたる場合は適當と認むる方法により之に應ずること
三、講演會、座談會等開催の場合講師として依賴あるときは之に應ずること
となつた

就學手續を急げ

市で該當者調べに苦心

市の學務課では明年度就學兒童を有する家庭にして從來その本籍地或は寄留地と現住所とを異にするもの及び寄留の手續きをせぬものがあり、彼此就學兒童豫定數不明のため學級編成並に通知書發送等に少からず支障を來すが例なので今年も豫め之に備ふるため過般來各區長を通じ二十日迄の期限を附し該當事項を整理取纏め中であるが來春の就學兒童は昭和八年四月二日より同九年四月一日の間に生れたものであると

小名商組 創立總會

小名濱、玉川、泉

一町二ヶ村の各組合を一丸とする小名商方部地方商業組合の創立總會を二十五日午後一時から小名濱小學校に開く

商人自戒の秋

平署經濟係擴充必至

平署の經濟警察係は定員に餘儀なくされた極度の手不足から常に机上の整理的用務に忙殺され、外部的の活動は、動もすれば寬嚴宜しきを保つと些か異つた意味に於て所謂長鞭馬腹に及ばぬ憾みがあり、殊に最近の如く品不足に伴ふ木炭價格の亂調に對するをはじめ宛然百鬼晝行的現實に一日の商淸を盈まいてゐた折柄、今回の七十四名增員は市制地たる平署にも當然急激な膨脹を來すものとして本格的の取締り徹底が期待されてゐる

昭和八年以來の豐收

豫想收穫高發表

本縣統計課調査十月末日現在本年第二回の平市並に石城郡下米豫想收穫高左の如く適順な天候に惠まれて去る昭和八年以來の豐收であり、銃後手不足の苦境を克服してお百姓さんは何れも豐の秋を讃えてゐる(カツコ內昨年對比增)
△石城二〇一、八四三石(七分二厘)
△平市八、〇五九石(八分)

小娘保護さる

昨夜遲く市內をうろつく小娘を平署員が引致取調べると中川幸子(一八)と稱し東京方面からトラツクに乘せられて來たらしいが低能らしく引續き同署で保護中

遺家族の相談相手

婦人指導員囑託

出征軍人遺家族の優しい婦人の相談相手として縣では近く平市並に石城郡下に遺家族婦人指導員を囑託するこの指導員は市町村、軍事援護人事相談所と聯絡、主として出征軍人遺家族中の婦人世帶の相談相手となり長期に亘る遺家族の家庭强化を徹底させるやう努力するものである

農閑季をねらつて 人狩り出しに着手

需要季の炭礦と紹介所

銃後石炭報國に邁進する地方各炭礦が需要季に入つて愈よ多忙ならんとしてゐる折柄平職業紹介所でも側面から『人』の充足に大童の活動を始めた

各地に所員を派遣

主に東北へ募集の手

農村からの季節勞働者は秋の農繁季に入ると共に過般來續々と歸農し各炭礦ともその補足に惱んでゐたが最近取入れの片づいた地方からボツ／＼復歸するものが多くなつたので紹介所ではこの機を逸せず他地方に先んじて所員(主事補)を左記擔當各縣に派遣し各縣職業課と緊密な連絡の下に大量募集を目指して今十四日から活動を開始した
△小針　栃木、埼玉
△鈴木　秋田、山形
△武田　宮城、岩手
△市原　東京、神奈川
△荒木　千葉、茨城

る筈である

入遠野村葬

入遠野村出身戰病歿折笠賓伍長の村葬を來る十九日正午から同村小學校に於て執行すると

劇場(川部)から發火

觀客二百名辛くも避難 附近十一戸全燒

昨夜七時頃川部村小川上手英太郎氏所有劇場小川館の映寫室から發火し觀覽客二百餘名は先を爭つて避難したので幸ひ死傷はなかつたが火はたちまち燃ひろがり同劇場を全燒更に附近の住家六棟十二戸を燒いて八時四十分漸く鎭火したが何せ劇場のこととて一時は大騷ぎであつた、原因植田署で取調中だが漏電によりフヰルムへ延火したものらしく損害二萬餘圓と稱される類燒家屋の主なるもの左の如く、同日は附近炭礦の會計日なので開館間もなくの椿事である
小松醫院、深谷飲食店、廣部炭礦飯場及びその長屋、田子石材店

映畫會を利用して

山間方部民に呼びかく

同所では更に各炭礦纖維工場等と連絡、明後十六日から左記日割で『映畫會』を開きその幕合ひを利用して炭礦首腦部、紹介所長等が山間方部の勞務開拓に從ふこととなつた、プロは常磐炭礦會製作の各炭礦實況と『輝く女性』外一種である(會場各小學校)
十六日川前、十七日上三坂、十八日澤渡、十九日箕輪第一、二十日上遠野、二十一日入遠野、二十二日田人石住分敎場

先づ五十名

古河へも

牛島同胞續々來山

常磐炭界に新生面を見出して過般來續々入り込んでゐる牛島同胞は既報磐城、入山に各五百名の外古河へも十二日第一陣四十六名が來山、殘る五十四名も近く來

男女六千の生徒に 戰時下輸送陣强化宣傳

立枝平驛長各校に講演

立枝平驛長は此程創始された總動員輸送協調に關し戰時下輸送陣の强化上先づ學校生徒を通じ各家庭に及ぼさんとする意圖の下に『驛の愛護は鄕土の誇り』の題句を揭げ
釣錢のいらぬ樣、列を作つて混雜防止(出札口)列を作つて混雜解消(改札口)荷造完全宛先明瞭(小荷物口)降りる方をお先に(ホーム)狹い車內を讓つて廣く、車內をきれいに氣持よく(車內)の各項に亘り既報磐中の外左記の如く尋常五年以上の小學生及び男女中等學校生徒に呼びかけたが効果覿面で爾來日常の乘降その他に生徒各自の實踐が反映を見せてゐると

日割	學校	生徒數
一	平陽	二六〇
二	磐中	一、二〇〇
四	佑賢	二五〇
六	磐女	一、〇〇〇
	青年	二八〇
七	第一	八〇〇
	藤田	三〇〇
九	第二	八〇〇
	第三	五〇〇
	商業	五八〇

生命線の坑口を死守

綴坑火事詳報

十三日午後一時頃內郷村磐城炭礦綴坑本斜坑入口電工詰所附近の草むらから發火同詰所、乾燥室、材料置場機械室等三棟を燒き同二時頃鎭火した原因は風向きから見てストーブの煙突の飛火らしく、損害も壓搾空氣を送るモーター等があつたのではじめは相當の額に上るだらうと見られたが諸機械は何れも十日間位で修理出來る程度で小一萬圓位なものだらうと云はれてゐる
尙ほ燒失個所は坑口に近いので同礦自衞團並に同村一の坪家庭防空群は前後二回の防空訓練で鍛へたお手並みを發揮、生命線を死守したその働き振りは賞讃されてゐる

農產物品評會

〇永戸箕輪、三阪澤渡兩組合村聯合で十八日から三日間合戸小學校
〇川前では二十日桶賣小學校に開くが審査は何れも郡農會青山技師

平市慶弔錄

△出生　本籍白銀町九東京市牛込區開城下町一四栖磐男氏三女立子さん、白銀町四二小野塚新三郎氏二男和夫君、舊城跡一一湯田正雄氏三女歌代子さん、禰宜町四鈴木保夫氏長男晃君、上平窪字八反田七〇國府田忠男氏四男收君
〇婚姻　東京市目黑區上目黑八町目六三一林惠氏(三五)四軒町八田村若葉さん(二六)

寄附

市內仲間町南波榮三郎氏は金三圓を市銃後奉公會へ寄附

新十一月十五日　水曜　舊十月五日　丙辰　友引　執　箕宿

▲一白　我を助ける人排する人あり中正を守るが無事▲二黑　一時をつくろふことなく元を正し正し道むべし▲三碧　小利にくらみて大勞を誤ることあり出納注意▲四綠　獨斷にて事を處する時は失敗目上の指圖吉▲五黃　寸陰をたしみ勵むときは空より實に移るべし▲六白　此より善くなる初め支障の爲に氣を折るな▲七赤　朝口は思ふ樣ならざれども午後は大吉なり▲八白　逆なみにほんろうさるゝ樣な日堅く內を守るべし▲九紫　永久の利害をよく見定めて事を始むるに吉

十五日【小名濱測候所觀測】
滿潮　前五、四〇　後三、五〇
干潮　前一〇、二五　後一一、一五

「貯蓄は無盡で」
一歩一歩登る富の山
無盡かけましよう今のうち
三仟圓　大福
磐城無盡

玉屋眼鏡店　平市三

御婚禮御支度
衣裳、かつらの便もあります
和洋結髮
パーマネント。ウエーブ
美容一切　御用命の程を願ひます
平市新田町
手塚美容院

開業廣告
▼物理療法　內科 小兒科　專門
診療時間　自午前八時 至午後六時
平市五丁目二
額賀醫院
(元平松宅)

外科一般
內臟外科　肛門病科　皮徽科　泌尿生殖器科(婦人科性病科)　專門
(入院隨意)
看護婦及見習看護婦　募集
平市字鎌田町
白土醫院
電二七九

皮膚科　泌尿器科　性病科　專門
診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士　江尻伊三郎
入院隨意

毎度有難う御座います。
パン食普及の秋！
自慢の食パン　一斤十六錢
榮養パン　十五錢　バターロール二錢五厘
甘コツペ　十錢　チヨコレートロール五錢
クリームロール五錢　野菜サラダパン、カレーパン、カツパン
ベーカリー　東京堂
平市搔槌小路(電話一〇八番)

只今入荷
金鷄印
天然バター
金鷄ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
1/2ポンド　1/4ポンド詰
西村屋藥局
電話3番